

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	消防通信指令システム管理事業												
事業担当	所属	55040000 消防本部通信指令課					所属長	足立 豊					
会計情報	事業コード	550228	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費	会計	01 一般会計	決算付属資料	202・204	頁
施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる									
計画期間	開始年度	平成10年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	消防組織法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	550270 中・北部地域共同消防指令センター整備事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	119番通報の内容から、災害発生場所及び災害状況を迅速・的確に把握し、被害を最小限度にとどめるために必要となる消防通信指令システム(消防指令システム、消防救急デジタル無線等)の機能維持を図り、災害への初動体制に万全を期すことにより、市民の安心・安全に貢献することを目的とする。												
対象者	市民(78,935人)、観光客(892,414人)	対象者数	971,349	単位あたりコスト	0.1								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	株式会社富士通ゼネラル近畿情報通信ネットワーク営業部、株式会社ドーン、大槻ポンプ工業株式会社福知山営業所												
事業概要 (箇条書き)	消防通信指令システムの機能維持 1 消防指令システム(119番通報受信や出動指令、管理システム)の機能維持、点検及び修繕 2 災害受信システム(119番回線、NET119)の機能維持 3 消防救急デジタル無線及び簡易デジタル無線の機能維持、点検及び修繕												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	需用費	1,882	基地局電気料、消耗品費、消防通信指令システム修繕料										
	役務費	6,928	119番回線等利用料、発信位置情報通知用回線利用料等										
	委託料	7,597	消防指令システム保守点検、消防救急デジタル無線及び簡易デジタル無線点検										
	使用料及び賃借料	1,064	NET119システム利用料等										
	旅費・備品購入費・負担金補助及び交付金	245	陸上特殊無線技士資格取得に係る旅費、簡易デジタル無線電波利用料、多言語同時通訳システム利用料、庁用備品(掃除機)										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	16,747	16,649	16,649	19,183	18,233			
	② 補正予算	55	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0	0			
小計(①~③)	16,802	16,649	16,649	19,183	18,233				
予算財源内訳	① 一般財源	16,802	16,649	16,649	19,183	18,233			
	② 国支出金	0	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	0	1,088		0	0			
	② 配当予算	16,802	17,737		0	0			
	③ 執行額	16,284	17,716		0	0			
	④ 執行率	96.9%	99.9%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	12.10 / 0.50	13.71 / 0.05	13.71 / 0.05	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	98,050	109,805	109,805	0	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	114,334	127,521	109,805	0	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	消防通信指令システム管理事業(きょうと地域連携交付金)		種類	消防費府補助金	実績金額	24	30	頁
							決算付属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	通信指令管制業務の不具合	回	0/0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0
機器の不具合	回	5/0	6 / 0	10 / 0	0	0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	119番通報対応件数	回	6410/7000	5454 / 7000	4800 / 7000	7000	7000
	単位あたりコスト		2.8	3.0	3.7		
	単位あたりコスト			/	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	通信指令業務は、119番通報受信から出動指令、災害情報の伝達等災害対応の初動となるため、24時間365日正常な稼働及び運用が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	消防通信指令システムの保守管理は、可能な限り保守範囲での修繕にとどめ、保守範囲を超えるものについては他の手段や方法とコストを比較し効率的な修繕を実施し、今後の消防指令センターの共同運用を見据え、延命的に運用している。また、システム保守に係る契約方法は、長期継続契約を用いて経費削減を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	消防通信指令システムの異常が発生した場合においても、代替措置を行いながら迅速に改修を行い、常に稼働及び運用し市民の安心・安全を図っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	119番通報受信から出動指令、災害情報の伝達等を24時間365日正常に稼働させ運用するために、消防指令システム、消防救急デジタル無線及び簡易デジタル無線の点検を実施し、機能維持を行い、通信指令業務が停止するなどの支障は発生しておらず、システムの維持管理に万全を期するために機器の不具合が発生しても迅速に修繕し、市民の安心・安全に貢献している。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成24年に現在の消防通信指令システムの運用を開始し、令和元年度にWindows7等のサポート終了に伴う情報系システム更新を実施したが、通信系システムの更新は行っていない。今後、通信系システムの耐用年数(10年)を迎える中で交換用部品の保有期間の終了もあり、修繕が困難となることも予想され、本市単独で消防指令システムを更新・維持管理していくためには高額な予算執行が必要となる。このことについては、近隣消防本部についても同様であり、消防指令センターを消防本部毎で整備又は共同で整備する場合と比較し、システム導入整備費及び運用開始後の維持管理経費の低廉化を図ることのできる消防指令センターの共同運用を令和6年4月から開始することを目標として協議調整を行っている。また、平成26年度から運用する消防救急デジタル無線についても、令和5年度に無線機器の耐用年数(10年)を迎えることから、消防指令センター共同運用や通信機器業界及び他市消防本部の動向を見ながら更新計画を検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	119番通報の受信から出動指令を行う消防通信指令システムと、災害現場での情報伝達手段に必要な消防救急デジタル無線の正常性を年間通じて確保する上で、必要な経費である。今後、通信系システムと無線機器の耐用年数(10年)を迎える中、それぞれの更新計画を視野に入れながら消防力を維持するため、定期的な保守点検と必要に応じた迅速な修繕により、年間を通じて機器の正常性を確保する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ー) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---